

中期経営計画書

策定年月日 2024 年 1 月 30 日

法人名： 公益社団法人青森県観光国際交流機構

法人の設立目的

1. 青森県内における観光の振興、地域の活性化及び産業の振興に関する事業を行い、もって青森県の経済の振興と地域社会の健全な発展に寄与すること。
2. 青森県民の国際交流・国際協力・地域多文化共生に関する幅広い分野での活動を促進し県民と世界の人々との相互理解と友好親善を深める事業を行い、もって県民の福祉及び文化の向上に寄与すること。

法人の経営目標

本県の観光振興と国際交流に係る唯一の県域レベルでの広域的な団体として、観光を取り巻く状況や本県観光の現状、在住外国人を取り巻く現状や多文化共生社会推進への状況を踏まえて、次の目標掲げる。

1. 観光振興
「観光地経営」の視点から地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりを推進する。また、本県観光のランドマークである青森県観光物産館アスパムについて、より効率的・効果的な管理運営と経営の改善に取り組み、観光・物産・産業の情報発信拠点としての魅力を高め、本県観光・産業の振興により、地域の活性化を図る。
2. 国際交流
国・県と連携しながら、国際交流ラウンジの運営や交流型日本語教室の開催など多様な取組により国際交流を推進するとともに、外国人相談窓口の運営を通じた在留外国人の支援、日本語指導サポーターや日本語パートナー等の養成などの各種取組を進め、多文化共生社会を推進するための体制づくりを図る。

中期経営計画における基本方針と目標

○基本方針

コロナ禍で打撃を受けた観光産業の再生において、地域のにぎわい創出や国内外からの観光需要の喚起を図るため、県の観光戦略を踏まえ、県や事業者等と連携・協働しながら、持続可能な観光の推進に向けて、各種取組を進める。青森県観光物産館アスパムについては、来館者数の増加と満足度の向上対策により、当法人の収益性の向上など、経営基盤の強化に取り組む。また、国際交流事業においては、2023年度に県が策定する「青森県多文化共生推進プラン」に基づき県と連携しながら取組を進める。

○目標

<観光振興事業>

県域を対象とする日本版DMO(※)として関係者が連携した観光地域づくりのけん引役となり、「地域の現場力(稼ぐ力)を高めること」を重視しながら、地域特性を生かした観光コンテンツの開発や旅行商品の造成等のほか、本県への誘客促進を図るため、県と連携して国内外でのプロモーションに取り組む。また、多言語対応などICT等を活用した国内外の受入体制の整備を推進し、更なる顧客満足度の向上と誘客促進を図る。更に、教育旅行やMICE(※)の誘致に積極的に取り組む。

※【DMO】Destination Management/Marketing Organization の略。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる法人。

※【MICE】会議(Meeting)、報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

<青森県観光物産館アスパム管理運営事業>

館内の各コンテンツの魅力向上、シアター等を活用した情報発信拠点としての機能の強化、ICTを活用したキャッシュレス環境の整備や多言語対応など、サービス水準の向上と快適な受入環境の確立に取り組み、来館者の顧客満足度の向上を図る。貸会議室、駐車場等の利用拡大や観光・物産の魅力と運動させた集客力のあるイベントを展開することにより、収益性の向上を図るとともに、維持管理コスト等の削減に取り組む。

<国際交流事業>

国・県と連携して、在留外国人からの各種相談に対応するための外国人相談窓口の運営のほか、災害発生時における在留外国人や外国人旅行者への情報提供、国際交流ラウンジを活用した多様な国際交流の取組を行う。また、多文化共生の推進を図るために、関係機関(市町村・民間団体)との連携や運営のために必要な人財の発掘、育成に取り組む。

目標達成に向けた具体的な取組と取組指標					
① 本県ならではの観光コンテンツの開発と旅行商品の造成					
【取組内容など】 関係事業者等と連携しながら、地域の特性を生かした観光コンテンツの開発・ブラッシュアップに取り組むとともに、魅力ある旅行商品を造成する。					
【指標(目標値)】 : 旅行商品造成・販売件数 魅力ある観光コンテンツ開発と旅行商品の造成に係る取組状況について、造成した旅行商品の販売件数で確認する。					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	35	35	40	40	40
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点			●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点		
② 本県観光の魅力の情報発信					
【取組内容など】 オフィシャルガイドブックやイベント等でのプロモーション活動とともに、機構が管理運営する観光情報サイト「Amazing AOMORI」や県内観光案内所等との連携体制の強化により、効果的に本県観光の魅力の情報発信を図る。					
【指標(目標値)】 : 青森県観光情報サイト「AmazingAOMORI」のアクセス数(件) 本県観光の魅力の情報発信に係る取組状況について、青森県観光情報サイト「AmazingAOMORI」のアクセス件数で確認する。					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	3,960,000	3,990,000	4,020,000	4,050,000	4,080,000
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点			●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点		
③ 青森県観光物産館アスパムの魅力の向上					
【取組内容など】 館内コンテンツの充実、サービス水準の向上など、青森県観光物産館アスパムの情報拠点としての機能の充実と強化、魅力向上に取り組む。また、2026年度は開館40周年の年であることから、周年記念を活用した利用向上策に力を入れる。					
【指標(目標値)】 : 青森県観光物産館アスパム総利用者数(人) 青森県観光物産館アスパムの魅力向上に係る取組状況について、館の総利用者数で確認する。					
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	1,277,000	1,280,000	1,290,000	1,295,000	1,300,000
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点			●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点		

④ 青森県観光物産館アスパムの効率的・効果的な管理運営

【取組内容など】

館内入居テナントとの連携を強化するとともに、貸会議室・駐車場の利用促進などにより、増収を図りながら効率的・効果的な管理運営に取り組む。

【指標(目標値)】 : 青森県観光物産館アスパム飲食・物販テナント利用件数(件)

館の効率的・効果的な管理運営に係る取組状況について、テナント等利用件数で確認する。

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	615,800	622,000	628,100	634,300	640,600
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

【指標(目標値)】 : 青森県観光物産館アスパム貸会議室収入(千円)

利用促進など増収対策と、館の効率的・効果的な管理運営に係る取組状況について、貸会議室収入で確認する。

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	46,600	48,000	49,400	50,900	52,400
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

【指標(目標値)】 : 青森県観光物産館アスパム一般駐車場収入(千円)

利用促進など増収対策と、館の効率的・効果的な管理運営に係る取組状況について、一般駐車場収入で確認する。

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	31,400	33,000	34,600	35,300	36,000
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点

●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点

⑤ 多文化共生推進のための取り組み

【取組内容など】

交流型日本語教室を運営するために、教室内で活動できる日本語指導サポーターと日本語パートナーを養成し、登録後はスキルアップを図るための研修や講座等を行う。

【指標(目標値)】 : 日本語指導サポーター及び日本語パートナー養成人数

交流型日本語教室運営のため、日本語指導サポーターと日本語パートナーを養成する。(人)

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度(最終年度)
目標値	161	170	180	190	200
実績値					
進捗率	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %

●年度の達成状況に係る法人自己分析・改善点

●年度の達成状況に係る所管課分析・改善点

定数管理(役・職員数)		(単位:人 / 上段:計画、下段:実績)				
項目		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
常勤役員	県派遣職員					
	県職員OB	1	1	1	1	1
	民間からの役員					
	プロパー職員					
	小計①	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0
常勤職員	県派遣職員	4	3	3	3	3
	県職員OB					
	民間からの職員	0	0	0	0	0
	プロパー職員	15	16	16	17	17
	小計②	19 0	19 0	19 0	20 0	20 0
非常勤役員	県・市町村関係	1	1	1	1	1
	民間からの役員	23	23	23	23	23
	小計③	24 0	24 0	24 0	24 0	24 0
非常勤職員	県職員OB	0	0	0	0	0
	その他の職員	0	0	0	0	0
	小計④	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
臨時職員⑤		18	18	18	18	19
合計(①~⑤)		62 0	62 0	62 0	63 0	64 0

計画の基本的考え方	
<p>県派遣職員の段階的な引き上げやプロパー職員の定年退職等をふまえ、計画的にプロパー職員を採用する。</p> <p>県派遣職員や業務に関連する各種団体・専門家等と連携・協働しながら、観光振興及び国際交流などの業務に係るプロパー職員のスキルアップなど人財育成に取組み、組織力の向上を図る。</p>	
●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

経営状況(収支計画)			※一般社団法人、公益社団・財団法人用 (単位:千円 / 上段:計画、下段:実績)				
項目			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
一般正味財産増減の部	経常増減の部	受取会費	50,180	50,240	50,420	50,480	50,540
		事業収入	379,227	384,981	390,888	396,956	403,191
		委託料収入	163,489	165,124	166,775	168,443	170,127
		受取補助金収入	65,583	41,599	39,599	38,599	37,599
		受取負担金・寄附金収入	3,927	3,927	3,927	3,927	3,927
		特定資産運用益・雑収入	3,326	3,326	3,326	3,326	3,326
		(うち県からの補助金)	61,533	37,549	35,549	34,549	33,549
	計	665,732	649,197	654,935	661,731	668,710	
	経常費用	事業費	678,377	660,012	663,816	668,807	673,781
		管理費	9,623	9,623	9,623	9,623	9,623
		(うち人件費)	138,359	133,659	139,059	141,840	144,677
		(うち減価償却費)	26,845	5,281	3,974	3,767	3,454
		その他	0	0	0	0	0
	計	688,000	669,635	673,439	678,430	683,404	
	当期経常増減額			-22,268	-20,438	-18,504	-16,699
			0	0	0	0	0
経常外増減の部	経常外収益	経常外収益	0	0	0	0	0
		固定資産除却損	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額			0	0	0	0
				0	0	0	0
当期一般正味財産増減額			-22,268	-20,438	-18,504	-16,699	-14,694
			0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高			539,837	517,569	497,131	478,627	461,928
一般正味財産期末残高			517,569	497,131	478,627	461,928	447,234
			0	0	0	0	0
指定正味財産増減の部	受取補助金等		0	0	0	0	0
	一般正味財産への振替額		-39,647	-17,489	-15,489	-14,489	-13,489
	当期指定正味財産増減額		-39,647	-17,489	-15,489	-14,489	-13,489
	指定正味財産期首残高		178,318	138,671	121,182	105,693	91,204
	指定正味財産期末残高		138,671	121,182	105,693	91,204	77,715
正味財産期末残高			656,240	618,313	584,320	553,132	524,949
			0	0	0	0	0

計画の基本的考え方

2023年度の補正予算を基に、計画策定段階で予算額の増減が見込まれる事業等について考慮した。

計画との乖離状況	(当期一般正味財産増減額)	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %
	(正味財産期末残高)	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

※計画との乖離状況(計算式) = |(計画値-実績値)| ÷ |計画値| × 100

●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

長期借入金償還計画	(単位:千円/上段:計画、下段:実績)				
項 目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
前年度借入残高	0	0	0	0	0
当該年度借入額(新規)	0	0	0	0	0
当該年度元金償還額	0	0	0	0	0
当該年度末借入残高	0	0	0	0	0

計画の基本的考え方					

計画達成率	(年度元金償還額)	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %
	(年度末借入残高)	0 %	0 %	0 %	0 %	0 %

※計画達成率(計算式) = 実績値 ÷ 計画値 × 100

●年度の実績に係る法人自己分析・改善点	●年度の実績に係る所管課分析・改善点

中期経営計画に対する所管課の意見	
基本方針について	<p>地域連携DMOとしての役割に合致しており、観光経営の視点から地域の稼ぐ力を引き出す地域づくりを進め、本県観光振興に取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、本県の多文化共生の推進に向けて、令和5年度に策定する「青森県多文化共生推進プラン」と方向性の整合を図りながら取り組む必要がある。</p>
目標設定について	<p>県域の観光団体として、関係者と連携・協働しながら本県観光の更なる振興に取り組むとともに、青森県観光物産館アスパムのより一層の効率的・効果的な管理運営に計画的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、県や市町村と連携し、国際交流や多文化共生社会の推進のために多言語情報の提供、相談事業、交流事業などについて、各地域の課題やニーズに対応した取組を推進する必要がある。</p>
定数管理について	<p>DMOとしての役割も果たしながら、県内唯一の県域の観光団体として本県観光振興を図るために、同法人のより効率的・効果的な運営は必須であり、プロパー職員の人財育成を図りながら、定数管理・人員配置の最適化に計画的に取り組んでいく必要がある。</p>
収支計画等について	<p>経費削減や収益向上に取り組むなど、中期経営計画に基づく改善策等に着実に取り組み、同法人の経営基盤のより一層の強化に取り組んでいく必要がある。</p>

所管課の方針	
今後の県としての関与について	<p>本県観光の振興を図るため、県域の中核的な観光団体である同法人とより一層連携・協働していくとともに、観光振興事業の自立化に向けた取組を進めていく。</p> <p>また、多文化共生の推進に当たっては、外国人相談窓口及び国際交流ラウンジの運営、交流型日本語教室の開催等の取組において、県と連携を図りながら地域国際化協会としての役割を果たしていく必要がある。</p>

●●年度の実績に係る所管課意見等	
改善すべき点等	